

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

大敵を恐れず 小敵を侮らず

日本のごとくより

「一月行く月」とはよく言ったもので、松がとれたと思つたら、もう下旬にさしかかりました。ことばとあり、「二月逃げ月」、「三月去る月」であれば、「学期後半もあつ」という間に終わってしまうんですね。

今年は暖冬で過ごしやすい毎日が続いていますが、低温と乾燥が大好きなインフルエンザが、出番はもうすぐだと待っているようで、これからの健康管理も大切になります。

三年生はいよいよ胸突き八丁、入試が待っています。いくら時間があつても、「もつと、もつと時間」が欲しいと思える日々が続きます。教科の勉強、面接の勉強、作文の勉強など、やることは沢山あります。今こそ、「計画的」に事を進めて行かなくてはなりません。

一・二年生は、今年の目標は立てられましたか？一年は早い。もう次の学年に進級する時期が来たのですね。来年度の新入生の説明会も行われました。先輩として名実ともに「中学生」になりたいものです。

「大敵」とは中学校での最終目標（進学・就職）。「小敵」とは、そこにたどり着くまでの日々のステップ。そう考えて下さい。

長い登り階段を一足飛びに駆け上がるつもりでもうまくいかないことがあるように、特に勉強は学校や家庭での日々の積み重ねが大事です。節目の一月です。これまでの自分の取組をしっかりと振り返り、階段を踏み外したり、途中が抜けることがないように、一歩一歩確実に歩みを進めて下さい。

二期後半の皆さんの目標に、「**家庭学習（復習）の充実**」を入れて、短いこの期間を乗り切りたいと思います。

《記憶法～ちょっと記憶しておいたらいいかも》

受験期真っ最中。徹夜して英単語を覚えているそこのあなた。暗記のコツをいくつか紹介します。

3年生に限らず、1・2年生も是非やってみてください。

- 1 ブツブツつぶやきなら勉強する（内言語法の活用）
- 2 就寝直前の勉強（勉強したらすぐ就寝 徹夜は最悪）
- 3 自分にとって能率の上がる時間帯を知る（好調な時間集中）
- 4 自分で自分を追い込む（罰でやる気を引き出す）
- 5 暗記は短時間を何回も繰り返す（集中より分散 30分より10分を3回）
- 6 十分な睡眠で記憶定着（最低でも6時間程度は欲しい）



速攻！寝る！

自分の能率の上がる時間帯に、自分でノルマを作り、【短時間集中ー休息】を繰り返し、ブツブツつぶやいて、終わったら爆睡。これが暗記の極意のようです。

《学校から地域へ、地域から学校へ》

12月14日、地域の高齢者の皆さんに、年賀状書きをしました。一人2枚イラストを交えて心を込めて書きました。mrtとUMKが取材に訪れ、同日の6時過ぎから放映されました。代表で4名の生徒がインタビューに答えてくれましたが、とてもよいコメントでした。この取組は、もう10年以上も続いています。これからも続けたい心温まる取組だと思います。

12月17日、地域の高齢者クラブの方々9名にご指導いただきながら、しめ縄づくりと門松づくりをしました。これも須木中の伝統の取組として続けているものです。門松は校門をドレスアップしてくれました。しめ縄は正月の各家庭を華やかにしたことでしょう。日本の伝統を伝えて下さったことに感謝いたします。

